

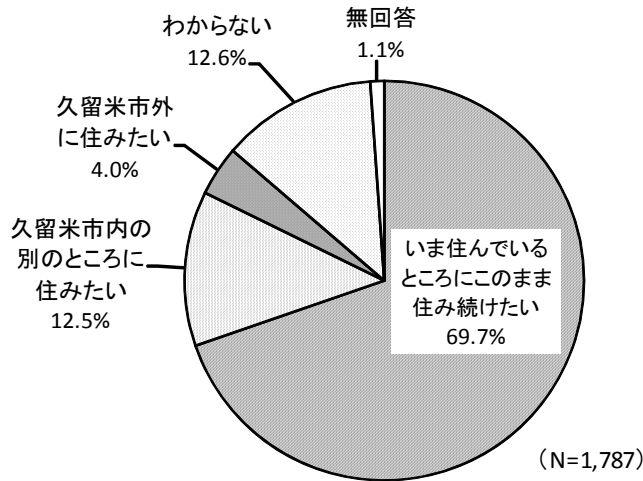
第3章 久留米市のまちづくり

3-1 久留米市への定住意向

(1) 久留米市への定住意向

「久留米市に住み続けたい」が約8割。「久留米市外に住みたい」は4.0%。
年齢が上がるほど「久留米市に住み続けたい」割合が高くなっている。

問3 あなたは、今後も久留米市に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】性別では大きな差はみられない。

【年齢別】年齢が高い層ほど「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」が高くなり、70歳以上では9割近くに上る。若年層でも「久留米市外に住みたい」は1割に満たない。

【ブロック別】「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」は中央東部、西部Bでやや高く、西部A、南東部、北部Bでは低くなっている。西部Aでは「久留米市内の別のところに住みたい」が2割を超える。

【居住年数別】10年以上で「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」が72.6%と高い。10年未満では「わからない」が3割近い。

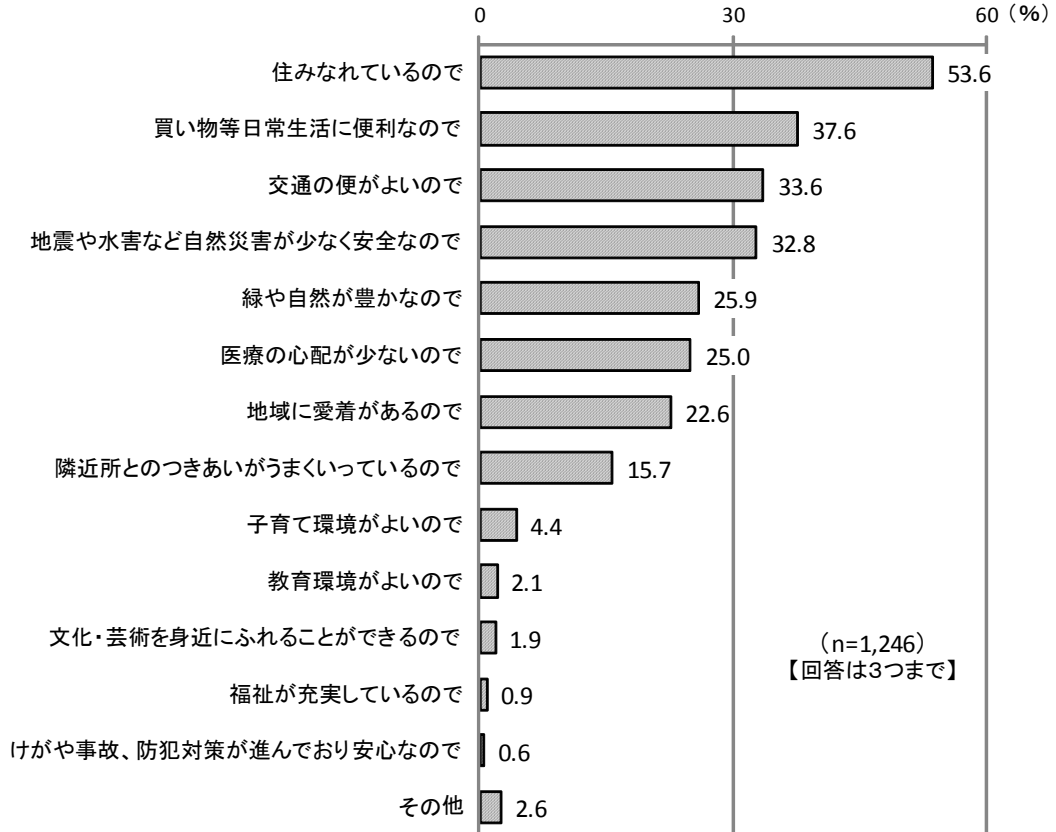
【住居形態別】借家・賃貸住宅等で「久留米市内の別のところに住みたい」が22.3%と高く、「わからない」も16.6%いる。

	標本数 (票)	久留米市への定住意向 (%)					無回答		標本数 (票)	久留米市への定住意向 (%)					無回答
		みこい と久 ろま 住に けに たこ のこ んで いま まる 住と	と久 ろま に市 に市 内住 みの 別の の	た久 い留 米市 外に 住み	わ か ら な い	無 回 答				みこい と久 ろま 住に けに たこ のこ んで いま まる 住と	と久 ろま に市 に市 内住 みの 別の の	た久 い留 米市 外に 住み	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	69.7 (1,246)	12.5 (224)	4.0 (72)	12.6 (225)	1.1 (20)	全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	69.7 (1,246)	12.5 (224)	4.0 (72)	12.6 (225)	1.1 (20)		
性別							東部A	128	69.5	14.8	2.3	13.3	-		
男性	821	71.3	11.4	3.8	12.5	1.0	東部B(田主丸)	120	72.5	10.0	5.8	10.8	0.8		
女性	966	68.4	13.5	4.2	12.6	1.2	北部A	161	68.9	11.2	4.3	14.9	0.6		
年齢別							北部B(北野)	118	64.4	6.8	5.9	22.0	0.8		
20歳代	195	44.1	18.5	7.7	28.7	1.0	中央東部	227	74.0	11.9	2.6	9.7	1.8		
30歳代	313	58.8	17.6	5.8	16.6	1.3	南東部	187	63.6	17.6	4.8	11.2	2.7		
40歳代	288	67.7	12.2	4.2	16.0	-	中央部	220	70.5	10.9	3.6	14.5	0.5		
50歳代	364	74.5	12.6	2.5	9.6	0.8	中央南部	297	71.7	11.1	5.1	11.4	0.7		
60歳代	393	77.9	9.2	3.8	7.6	1.5	南西部	154	72.7	15.6	3.9	7.8	-		
70歳以上	234	87.2	6.8	1.3	2.6	2.1	西部A(城島)	74	56.8	21.6	4.1	14.9	2.7		
居住年数別							西部B(三潞)	101	73.3	9.9	1.0	12.9	3.0		
10年未満	224	50.0	12.9	8.0	28.1	0.9									
10年以上	1,553	72.6	12.5	3.5	10.3	1.1									
無回答	10	60.0	10.0	-	20.0	10.0									
居住形態別															
持ち家	1,329	75.1	9.2	3.5	11.2	1.0									
借家・賃貸住宅等	458	54.1	22.3	5.5	16.6	1.5									

(2) 久留米市に住み続けたい理由

久留米市に住み続けたい理由は、「住みなれている」が5割を超えている。
「交通の便がよい」「買い物等日常生活に便利」などは市中央部で高い。

問3付問1 **問3で1に回答した人に** あなたが住み続けたいと思う主な理由は何ですか。
次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】男性は「地域に愛着があるので」が女性より高く、女性は「買い物等日常生活に便利なので」が高い。

【年齢別】20歳代では「地域に愛着があるので」が高く、4割を超えている。「地震や水害など自然災害が少なく安全なので」は60歳以上で高くなっている。

【ブロック別】

・「交通の便がよいので」「買い物等日常生活に便利なので」「医療の心配が少ないので」はいずれも市中央部で高くなっている。

・「地震や水害など自然災害が少なく安全なので」は南西部と南東部、中央南部で4割を超えて高く、「緑や自然が豊かなので」は東部Bで特に高い。「住みなれているので」は北部B、西部Aで7割を超えて高くなっている。

【住居形態別】「交通の便がよいので」と「買い物等日常生活に便利なので」が借家・賃貸住宅等の人で高くなっている。

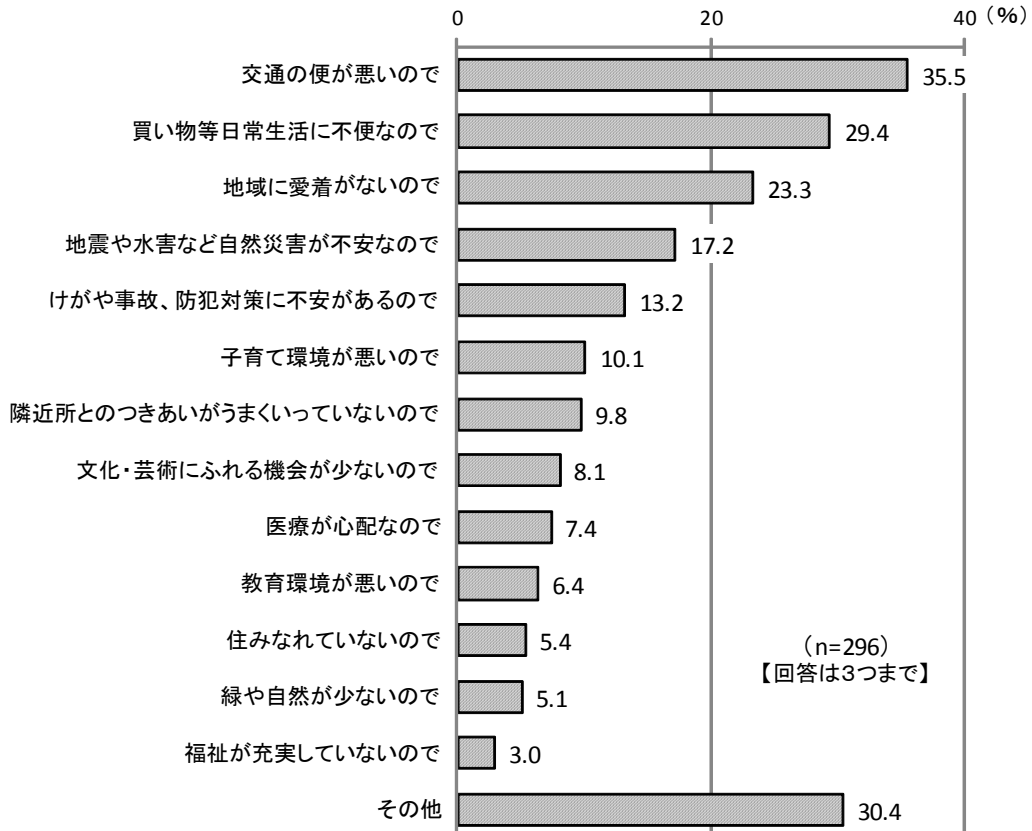
	標本数(票)	住み続けたい理由 (%)														
		交通の便がよいので	買い物等日常生活に便利	医療の心配が少ないので	福祉が充実している	教育環境がよいので	子育て環境がよいので	文化・芸術が身近にふれ	緑や自然が豊かなので	地震や水害など自然災害	進んがやおり故、防犯対策が	ましく近所とのつきあいがう	地域に愛着があるので	住みなれているので	その他	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,246)	33.6 (419)	37.6 (468)	25.0 (312)	0.9 (11)	2.1 (26)	4.4 (55)	1.9 (24)	25.9 (323)	32.8 (409)	0.6 (7)	15.7 (195)	22.6 (282)	53.6 (668)	2.6 (33)	0.1 (1)
性別																
男性	585	32.0	33.2	25.0	1.0	1.5	3.2	1.7	25.6	31.5	0.7	13.5	28.0	55.7	3.4	-
女性	661	35.1	41.5	25.1	0.8	2.6	5.4	2.1	26.2	34.0	0.5	17.5	17.9	51.7	2.0	0.2
年齢別																
20歳代	86	23.3	36.0	17.4	1.2	-	4.7	2.3	23.3	20.9	-	9.3	44.2	59.3	3.5	-
30歳代	184	33.2	41.3	25.0	-	3.8	10.9	1.6	19.0	23.4	-	14.1	23.4	54.9	3.3	-
40歳代	195	34.9	33.3	19.0	1.0	4.6	7.7	0.5	23.1	24.1	1.5	13.3	23.6	51.8	4.1	-
50歳代	271	36.5	37.3	23.6	0.4	1.5	2.6	1.5	26.9	35.4	-	15.9	23.6	55.0	1.8	-
60歳代	306	35.3	36.6	27.8	1.6	1.0	2.6	2.6	31.0	40.2	1.3	17.0	17.3	52.0	2.3	0.3
70歳以上	204	30.9	40.7	31.9	1.0	1.5	0.5	2.9	27.0	40.2	-	19.6	18.6	52.5	2.0	-
ブロック別																
東部A	89	20.2	33.7	18.0	-	-	5.6	-	42.7	21.3	-	23.6	29.2	60.7	2.2	-
東部B(田主丸)	87	13.8	23.0	11.5	-	1.1	5.7	2.3	63.2	19.5	1.1	24.1	28.7	64.4	1.1	-
北部A	111	40.5	46.8	24.3	3.6	2.7	6.3	2.7	27.9	17.1	-	14.4	16.2	43.2	1.8	0.9
北部B(北野)	76	21.1	23.7	15.8	1.3	3.9	7.9	1.3	28.9	27.6	-	22.4	26.3	75.0	1.3	-
中央東部	168	41.7	50.6	26.2	-	1.2	4.2	3.0	21.4	39.9	-	13.7	16.1	47.0	2.4	-
南東部	119	19.3	31.1	28.6	0.8	-	4.2	2.5	29.4	42.0	1.7	16.0	21.8	53.8	6.7	-
中央部	155	54.8	42.6	32.3	0.6	4.5	3.2	3.9	14.2	27.1	0.6	6.5	24.5	47.7	3.2	-
中央南部	213	45.5	50.2	38.5	0.9	2.3	2.3	1.9	8.0	40.4	0.5	9.9	15.5	49.3	0.9	-
南西部	112	33.0	22.3	22.3	-	2.7	1.8	-	24.1	43.8	0.9	18.8	34.8	49.1	2.7	-
西部A(城島)	42	4.8	23.8	7.1	4.8	2.4	2.4	-	35.7	28.6	2.4	21.4	21.4	71.4	2.4	-
西部B(三瀬)	74	18.9	24.3	12.2	-	1.4	9.5	-	33.8	36.5	-	23.0	28.4	62.2	5.4	-
住居形態別																
持ち家	998	30.4	35.3	25.2	1.0	1.9	4.0	1.9	28.5	33.9	0.6	16.1	23.5	55.9	2.3	0.1
借家・賃貸住宅等	248	46.8	46.8	24.6	0.4	2.8	6.0	2.0	15.7	28.6	0.4	13.7	19.0	44.4	4.0	-



(3) 別の場所に移りたい理由

別の場所に移りたい理由は「交通の便が悪い」が35.5%。
年齢の高い層では「買い物等日常生活に不便」が高くなっている。

問3付問2 **問3で2または3に回答した人に** あなたが別の場所に移りたいと思う主な理由は何ですか。次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】男性は「地域に愛着がないので」が女性に比べ高くなっている。

【年齢別】

- ・「交通の便が悪いので」は50歳代、60歳代で4割を超えている。
- ・「買い物等日常生活に不便なので」は30歳代、40歳代は1割台と比較的低いが、70歳以上では6割弱と高くなっている。

【性別・年齢別】

- ・「交通の便が悪いので」は男性20歳代、50歳代と女性の40歳代、50歳代が高い。
- ・「子育て環境が悪いので」は男性20歳代と女性30歳代、40歳代が高い。
- ・「地震や水害など自然災害が不安なので」は女性の40歳以上の年齢層で高くなっている。

【ブロック別】

- ・「交通の便が悪いので」「買い物等日常生活に不便なので」は西部A、西部Bで特に高い。
- ・「地震や水害など自然災害が不安なので」は西部B、南西部、北部Aでやや高い。
- ・中央部では「教育環境が悪いので」、中央南部では「子育て環境が悪いので」が2割弱とやや高い。また、中央東部では「けがや事故、防犯対策に不安があるので」が3割に上る。

【住居形態別】「交通の便が悪いので」「地震や水害など自然災害が不安なので」「買い物等日常生活に不便なので」は、持ち家の方が借家・賃貸住宅等より高くなっている。

	標本数 (票)	別の場所に移りたい理由 (%)														
		交通の便が悪いので	買わない物等日常生活に不便なので	医療が心配なので	福祉が充実していない	教育環境が悪いので	子育て環境が悪いので	文化・芸術にふれる機会が少ない	緑や自然が少ないので	地震や水害など自然災害が不安なので	けがや事故、防犯対策に不安があるので	うまくいっていないのが	隣近所とのつきあいが	地域に愛着がないので	住みなれていないので	その他
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (296)	35.5 (105)	29.4 (87)	7.4 (22)	3.0 (9)	6.4 (19)	10.1 (30)	8.1 (24)	5.1 (15)	17.2 (51)	13.2 (39)	9.8 (29)	23.3 (69)	5.4 (16)	30.4 (90)	1.0 (3)
性別																
男性	125	33.6	28.8	7.2	4.0	3.2	8.8	11.2	4.0	14.4	12.0	10.4	28.0	3.2	29.6	0.8
女性	171	36.8	29.8	7.6	2.3	8.8	11.1	5.8	5.8	19.3	14.0	9.4	19.9	7.0	31.0	1.2
年齢別																
20歳代	51	33.3	31.4	5.9	5.9	3.9	13.7	7.8	5.9	5.9	9.8	5.9	23.5	7.8	31.4	-
30歳代	73	30.1	15.1	4.1	1.4	12.3	17.8	5.5	4.1	13.7	19.2	8.2	26.0	6.8	35.6	1.4
40歳代	47	31.9	17.0	4.3	6.4	10.6	10.6	8.5	6.4	23.4	19.1	8.5	17.0	2.1	36.2	-
50歳代	55	45.5	36.4	10.9	3.6	1.8	5.5	10.9	7.3	20.0	7.3	14.5	21.8	7.3	21.8	1.8
60歳代	51	41.2	41.2	11.8	-	2.0	3.9	3.9	3.9	27.5	9.8	5.9	27.5	3.9	33.3	2.0
70歳以上	19	26.3	57.9	10.5	-	5.3	-	21.1	-	10.5	10.5	26.3	21.1	-	10.5	-
性別×年齢別																
男性:20歳代	21	38.1	38.1	9.5	4.8	4.8	23.8	14.3	9.5	14.3	9.5	4.8	33.3	4.8	9.5	-
男性:30歳代	26	34.6	19.2	3.8	3.8	7.7	15.4	7.7	-	15.4	15.4	3.8	23.1	-	42.3	-
男性:40歳代	22	27.3	13.6	9.1	9.1	-	-	9.1	4.5	9.1	22.7	9.1	13.6	-	45.5	-
男性:50歳代	25	36.0	28.0	12.0	4.0	-	4.0	16.0	8.0	12.0	8.0	20.0	20.0	8.0	16.0	4.0
男性:60歳代	23	34.8	30.4	4.3	-	4.3	4.3	4.3	-	17.4	8.7	8.7	43.5	4.3	43.5	-
男性:70歳以上	8	25.0	75.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-
女性:20歳代	30	30.0	26.7	3.3	6.7	3.3	6.7	3.3	3.3	-	10.0	6.7	16.7	10.0	46.7	-
女性:30歳代	47	27.7	12.8	4.3	-	14.9	19.1	4.3	6.4	12.8	21.3	10.6	27.7	10.6	31.9	2.1
女性:40歳代	25	36.0	20.0	-	4.0	20.0	20.0	8.0	8.0	36.0	16.0	8.0	20.0	4.0	28.0	-
女性:50歳代	30	53.3	43.3	10.0	3.3	3.3	6.7	6.7	6.7	26.7	6.7	10.0	23.3	6.7	26.7	-
女性:60歳代	28	46.4	50.0	17.9	-	-	3.6	3.6	7.1	35.7	10.7	3.6	14.3	3.6	25.0	3.6
女性:70歳以上	11	27.3	45.5	18.2	-	9.1	-	18.2	-	-	18.2	27.3	-	-	18.2	-
ブロック別																
東部A	22	40.9	22.7	9.1	4.5	13.6	9.1	13.6	4.5	18.2	13.6	13.6	18.2	4.5	22.7	-
東部B(田主丸)	19	52.6	31.6	5.3	-	-	5.3	21.1	-	15.8	-	21.1	42.1	15.8	36.8	-
北部A	25	24.0	16.0	-	4.0	-	4.0	4.0	-	24.0	16.0	8.0	20.0	4.0	40.0	8.0
北部B(北野)	15	46.7	33.3	-	-	-	6.7	-	-	20.0	20.0	20.0	26.7	13.3	26.7	-
中央東部	33	21.2	3.0	9.1	3.0	6.1	9.1	9.1	12.1	9.1	30.3	6.1	27.3	6.1	33.3	-
南東部	42	42.9	50.0	7.1	-	4.8	11.9	11.9	2.4	11.9	14.3	7.1	21.4	2.4	23.8	-
中央部	32	15.6	9.4	3.1	6.3	18.8	12.5	3.1	12.5	15.6	18.8	9.4	18.8	3.1	40.6	3.1
中央南部	48	16.7	14.6	4.2	6.3	10.4	18.8	6.3	10.4	14.6	8.3	8.3	22.9	4.2	41.7	-
南西部	30	36.7	46.7	6.7	3.3	3.3	6.7	6.7	-	26.7	3.3	13.3	20.0	6.7	26.7	-
西部A(城島)	19	84.2	73.7	36.8	-	-	5.3	5.3	-	21.1	10.5	5.3	15.8	5.3	-	-
西部B(三瀧)	11	72.7	63.6	9.1	-	-	9.1	9.1	-	27.3	-	-	36.4	-	18.2	-
別居形態																
持ち家	169	39.6	33.1	9.5	4.1	4.7	8.3	8.3	5.9	23.7	11.8	11.2	22.5	4.7	28.4	0.6
借家・賃貸住宅等	127	29.9	24.4	4.7	1.6	8.7	12.6	7.9	3.9	8.7	15.0	7.9	24.4	6.3	33.1	1.6

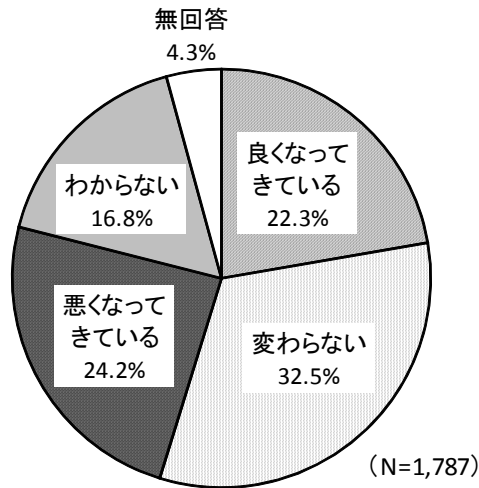
3-2 久留米市の10年間の評価

「良くなってきている」「悪くなってきている」がともに2割台。「変わらない」が約3分の1。
居住ブロックによって評価が分かれる。

問4 久留米市は、全体としてこの10年間で、良くなってきていると思いますか。それとも悪くなってきていると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

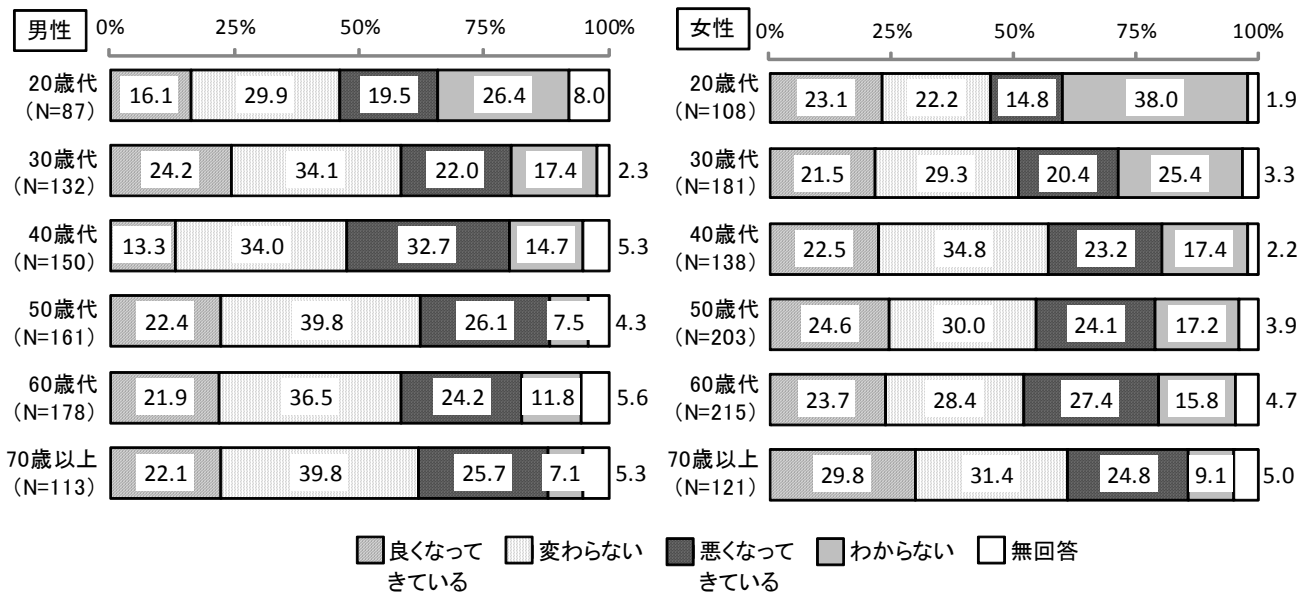
※当時は旧4町(田主丸町、北野町、城島町、三潯町)にお住まいだった方も、今の久留米市域を10年前と比較してお答えください。

※10年前は現在の久留米市域以外にお住まいだった方は、転入当時と比較してお答えください。



■ 図3-1 性別・年齢別にみた久留米市の10年間の評価

◇ 男性の40歳代で「悪くなってきている」が他の年齢層と比べて高い。女性は70歳以上で「良くなってきている」が約3割と高い。



■「良くなってきている」人の満足度の高い5項目

順位	項目	0	40	80 (%)
1位	四季のイベントの振興	75.9		
2位	地域医療体制の充実	70.1		
3位	ごみ処理対策	66.6		
4位	生活排水処理の整備	65.8		
5位	環境美化対策	63.8		

■「悪くなってきている」人の不満度の高い5項目

順位	項目	0	40	80 (%)
1位	労働・雇用対策	58.8		
2位	バリアフリー化対策	58.6		
3位	生活道路や側溝の整備	56.8		
4位	商工業振興対策	55.8		
5位	防犯対策	49.4		

◆属性別特徴

【性別】「良くなってきている」は女性で、「変わらない」は男性でやや高い。

【年齢別】

- ・年齢が下がるほど「わからない」の割合が高くなる傾向があり、20歳代では3割を超える。
- ・40歳代では「良くなってきている」が最も低く、「悪くなってきている」が高い。

【ブロック別】

- ・東部A、南東部は「良くなってきている」が3割前後に上るが、東部Bでは1割にとどまる。
- ・「悪くなってきている」は西部Aで約4割、東部Bと北部B、中央部で約3割と高い。

【定住意向別】「良くなってきている」の割合が定住意向の高い人ほど高い。反対に「悪くなってきている」は、久留米市外に住みたい人で34.7%と高くなっている。

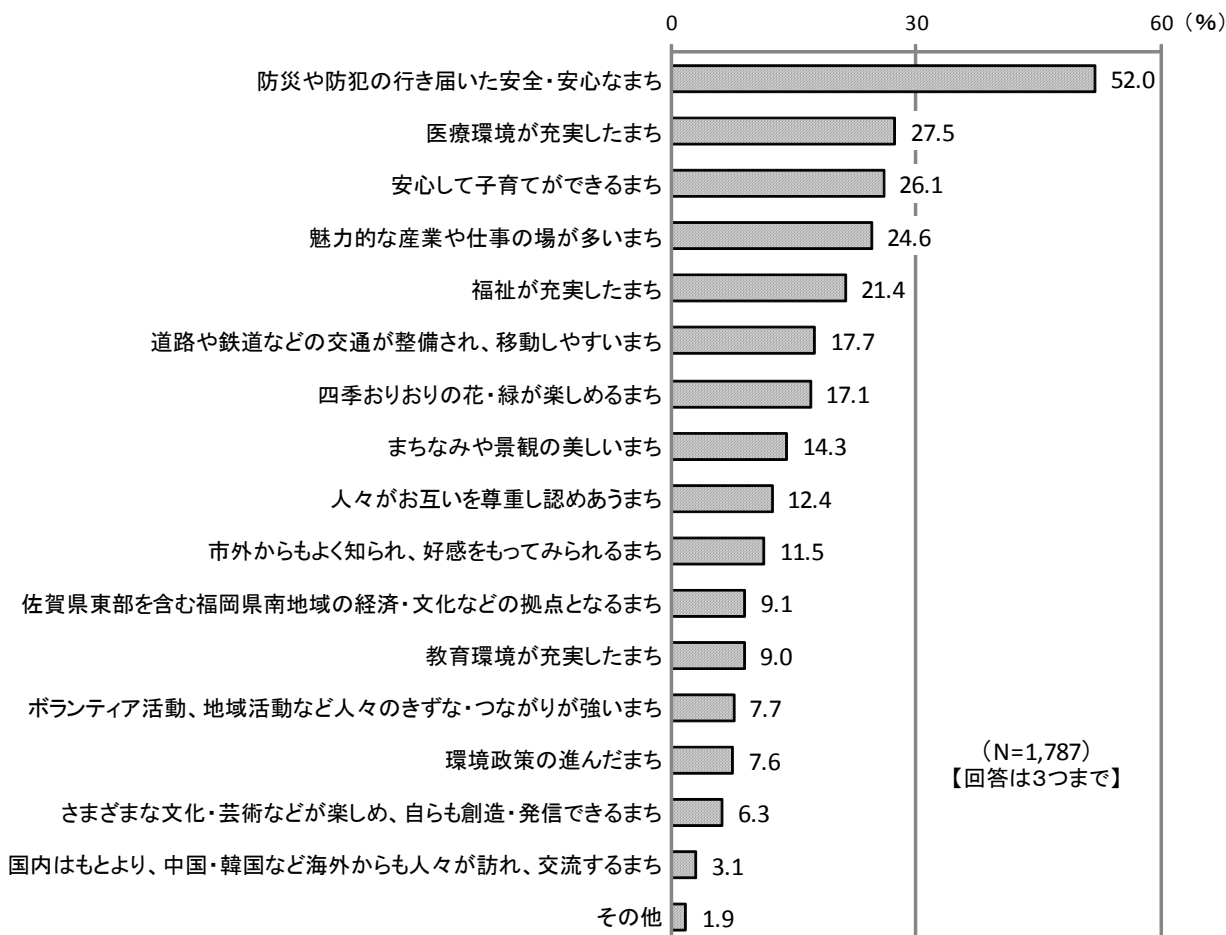
	標本数 (票)	久留米市はこの10年間で良くなってきているか (%)					無回答
		良 く な っ て い な い	変 わ ら な い	悪 く な っ て い な い	わ か ら な い		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	22.3 (398)	32.5 (581)	24.2 (432)	16.8 (300)	4.3 (76)	
性別							
男性	821	20.2	36.1	25.5	13.3	5.0	
女性	966	24.0	29.5	23.1	19.8	3.6	
年齢別							
20歳代	195	20.0	25.6	16.9	32.8	4.6	
30歳代	313	22.7	31.3	21.1	22.0	2.9	
40歳代	288	17.7	34.4	28.1	16.0	3.8	
50歳代	364	23.6	34.3	25.0	12.9	4.1	
60歳代	393	22.9	32.1	26.0	14.0	5.1	
70歳以上	234	26.1	35.5	25.2	8.1	5.1	
ブロック別							
東部A	128	32.0	34.4	16.4	13.3	3.9	
東部B(田主丸)	120	10.0	35.0	30.0	21.7	3.3	
北部A	161	20.5	38.5	16.8	19.3	5.0	
北部B(北野)	118	17.8	29.7	29.7	19.5	3.4	
中央東部	227	24.7	34.4	19.4	18.1	3.5	
南東部	187	28.9	29.4	18.7	19.8	3.2	
中央部	220	23.6	25.5	29.5	15.9	5.5	
中央南部	297	23.2	33.3	27.9	11.4	4.0	
南西部	154	21.4	31.2	21.4	20.1	5.8	
西部A(城島)	74	12.2	31.1	39.2	16.2	1.4	
西部B(三潴)	101	17.8	38.6	23.8	12.9	6.9	
定住意向別							
いま住んでいるところに このまま住み続けたい	1,246	24.2	33.4	23.2	14.7	4.6	
久留米市内の別のところに 住みたい	224	22.3	32.1	26.3	14.3	4.9	
久留米市外に住みたい	72	15.3	26.4	34.7	16.7	6.9	
わからない	225	13.3	30.2	23.6	32.0	0.9	
無回答	20	30.0	30.0	30.0	5.0	5.0	

3-3 久留米市の将来像

(1) 久留米市の将来のまちの姿

「防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち」が52.0%と、過半数を超えている。
30歳代では「安心して子育てができるまち」が約5割に上る。

問5 あなたは、長期的な視点で見、久留米市にはどのようなまちとなって欲しいと思いますか。次の中から特に重要と思うものを3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】女性は「安心して子育てができるまち」「医療環境が充実したまち」が男性に比べ高い。一方男性は「魅力的な産業や仕事の間が多いまち」「佐賀県東部を含む福岡県南地域の経済・文化などの拠点となるまち」が女性に比べ高い。

【年齢別】

- ・20歳代、30歳代では「安心して子育てができるまち」が高く、特に30歳代では5割弱に上る。
- ・「魅力的な産業や仕事の間が多いまち」「道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち」は40歳代で高くなっている。
- ・「福祉が充実したまち」は50歳以上の年代でやや高くなっている。

【性別・年齢別】

- ・女性30歳代では「安心して子育てができるまち」が54.7%で1位となっている。また、男性30歳代でも41.7%と他の年齢層に比べて高い。
- ・男性40歳代は「魅力的な産業や仕事の間が多いまち」が36.0%で2位にあげられている。
- ・男性、女性ともに60歳以上では「医療環境が充実したまち」や「福祉が充実したまち」が上位にあげられているが、女性の70歳以上では「四季おりおりの花・緑が楽しめるまち」が23.1%で3位となっている。

【ブロック別】中央部では「四季おりおりの花・緑が楽しめるまち」「まちなみや景観の美しいまち」がやや高い。
「魅力的な産業や仕事の場が多いまち」は西部Aで3割を超えている。

	標本数(票)	長期的な視点で、久留米市にはどのようなまちとなってほしいか (%)																			
		が四季おりおりの花・緑	まちなみや景観の美しいまち	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち	環境政策の進んだまち	人々がお互いを尊重し認めあうまち	活動など人々のきずな・つながりが強いまち	ボランティア活動・地域創造など発信できるまち	さまざまな文化・芸術などが楽しめるまち	安心して子育てができるまち	教育環境が充実したまち	医療環境が充実したまち	福祉が充実したまち	魅力的な産業や仕事の場が多いまち	韓国など海外からも人々が訪れ、交流するまち	市内はもとより、中国・すいまいまち	道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち	市外からもよく知られ、好感をもってみられるまち	市外からもよく知られ、好感をもってみられるまち	佐賀県東部を含む福岡県南地域の経済・文化	その他
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	17.1 (306)	14.3 (255)	52.0 (929)	7.6 (135)	12.4 (221)	7.7 (137)	6.3 (113)	26.1 (467)	9.0 (160)	27.5 (491)	21.4 (383)	24.6 (439)	3.1 (55)	17.7 (317)	11.5 (205)	9.1 (162)	1.9 (34)	1.4 (25)		
性別																					
男性	821	15.3	16.4	51.2	7.1	12.4	7.3	7.3	23.8	7.1	24.5	20.1	28.1	4.1	19.2	11.3	12.5	1.9	1.2		
女性	966	18.6	12.4	52.7	8.0	12.3	8.0	5.5	28.2	10.6	30.0	22.6	21.5	2.2	16.5	11.6	6.1	1.9	1.6		
年齢別																					
20歳代	195	16.4	16.4	43.6	6.7	10.8	6.7	9.2	35.9	9.7	20.0	12.3	26.2	3.6	16.9	22.1	6.2	3.1	2.1		
30歳代	313	13.7	14.1	51.4	5.8	11.2	7.7	6.7	49.2	17.6	28.1	12.1	19.8	3.8	15.3	11.5	7.0	2.6	1.6		
40歳代	288	14.9	14.2	47.6	5.9	10.1	6.3	5.9	28.5	11.5	25.3	19.1	31.3	2.8	22.6	12.5	8.3	2.8	1.7		
50歳代	364	19.8	15.1	56.0	10.2	15.9	7.7	5.5	17.0	6.0	27.7	28.0	25.8	3.3	19.5	8.5	8.8	0.5	0.8		
60歳代	393	17.8	12.5	56.0	8.9	11.5	8.9	5.3	17.0	5.1	29.0	26.7	23.2	2.8	16.3	10.2	12.5	1.5	1.3		
70歳以上	234	19.7	14.5	52.1	6.4	14.1	8.1	6.8	13.7	4.7	32.5	25.2	21.8	2.1	15.4	8.1	9.8	1.7	1.3		
ブロック別																					
東部A	128	18.8	10.9	48.4	8.6	14.1	6.3	2.3	29.7	9.4	23.4	23.4	25.8	3.1	21.9	9.4	9.4	0.8	-		
東部B(田主丸)	120	20.0	12.5	48.3	5.8	15.8	8.3	3.3	22.5	6.7	28.3	20.0	23.3	2.5	21.7	10.8	6.7	3.3	2.5		
北部A	161	16.1	16.8	56.5	8.7	13.0	6.2	6.8	23.6	8.7	26.7	23.0	20.5	3.7	18.0	9.3	7.5	3.1	1.2		
北部B(北野)	118	16.9	9.3	56.8	11.0	11.9	9.3	4.2	25.4	9.3	28.8	21.2	16.9	2.5	15.3	9.3	5.9	2.5	2.5		
中央東部	227	15.0	15.9	51.5	7.5	9.3	11.5	8.4	32.6	7.0	29.5	20.3	23.8	4.0	17.6	10.1	5.7	1.8	0.4		
南東部	187	16.0	15.0	53.5	8.0	11.2	7.5	5.3	23.5	10.7	25.1	21.9	26.2	1.6	17.6	9.1	11.2	0.5	1.6		
中央部	220	23.6	20.0	48.2	7.7	12.7	8.6	9.5	25.5	11.8	26.8	17.3	27.3	4.1	15.9	12.7	10.9	0.9	0.5		
中央南部	297	15.5	15.8	53.9	5.7	12.1	8.1	6.7	24.2	9.8	27.6	23.2	28.6	3.0	13.8	13.5	10.4	2.7	0.7		
南西部	154	14.9	12.3	55.2	5.2	13.6	3.2	7.1	27.9	9.1	27.3	18.2	22.1	3.2	16.9	15.6	11.0	1.9	3.2		
西部A(城島)	74	12.2	5.4	41.9	9.5	8.1	4.1	5.4	25.7	4.1	28.4	24.3	31.1	1.4	25.7	8.1	12.2	2.7	5.4		
西部B(三瀬)	101	17.8	9.9	51.5	8.9	15.8	6.9	5.0	25.7	6.9	31.7	26.7	19.8	3.0	21.8	15.8	7.9	1.0	1.0		

■性別・年齢別にみた久留米市の将来のまちの姿(上位5項目)

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 N=1,787	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 52.0	医療環境が充実したまち 27.5	安心して子育てができるまち 26.1	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 24.6	福祉が充実したまち 21.4
性別×年齢別					
男性:20歳代 N=87	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 37.9	安心して子育てができるまち 31.0	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 26.4	医療環境が充実したまち/市外からもよく知られ、好感をもってみられるまち 23.0	
男性:30歳代 N=132	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 48.5	安心して子育てができるまち 41.7	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 27.3	医療環境が充実したまち 23.5	まちなみや景観の美しいまち 15.9
男性:40歳代 N=150	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 46.0	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 36.0	道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち 26.0	安心して子育てができるまち 25.3	医療環境が充実したまち 23.3
男性:50歳代 N=161	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 55.3	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 28.6	医療環境が充実したまち/道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち 22.4	四季おりおりの花・緑が楽しめるまち/福祉が充実したまち 21.1	
男性:60歳代 N=178	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 59.6	医療環境が充実したまち 26.4	福祉が充実したまち 25.3	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 24.2	安心して子育てができるまち 18.0
男性:70歳以上 N=113	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 52.2	福祉が充実したまち 29.2	医療環境が充実したまち 28.3	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 25.7	まちなみや景観の美しいまち/道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち 18.6
女性:20歳代 N=108	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 48.1	安心して子育てができるまち 39.8	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 25.9	市外からもよく知られ、好感をもってみられるまち 21.3	道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち 18.5
女性:30歳代 N=181	安心して子育てができるまち 54.7	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 53.6	医療環境が充実したまち 31.5	教育環境が充実したまち 22.7	四季おりおりの花・緑が楽しめるまち/道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち 15.5
女性:40歳代 N=138	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 49.3	安心して子育てができるまち 31.9	医療環境が充実したまち 27.5	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 26.1	福祉が充実したまち 22.5
女性:50歳代 N=203	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 56.7	福祉が充実したまち 33.5	医療環境が充実したまち 32.0	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 23.6	四季おりおりの花・緑が楽しめるまち 18.7
女性:60歳代 N=215	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 53.0	医療環境が充実したまち 31.2	福祉が充実したまち 27.9	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 22.3	四季おりおりの花・緑が楽しめるまち 20.9
女性:70歳以上 N=121	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 52.1	医療環境が充実したまち 36.4	四季おりおりの花・緑が楽しめるまち 23.1	福祉が充実したまち 21.5	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 18.2



■定住意向別にみた久留米市の将来のまちの姿(上位5項目)

◇久留米市外に住みたい人では、「防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち」に次いで「魅力的な産業や仕事の場が多いまち」「安心して子育てができるまち」「道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち」といった日常生活の基盤となるものを求めているようだ。

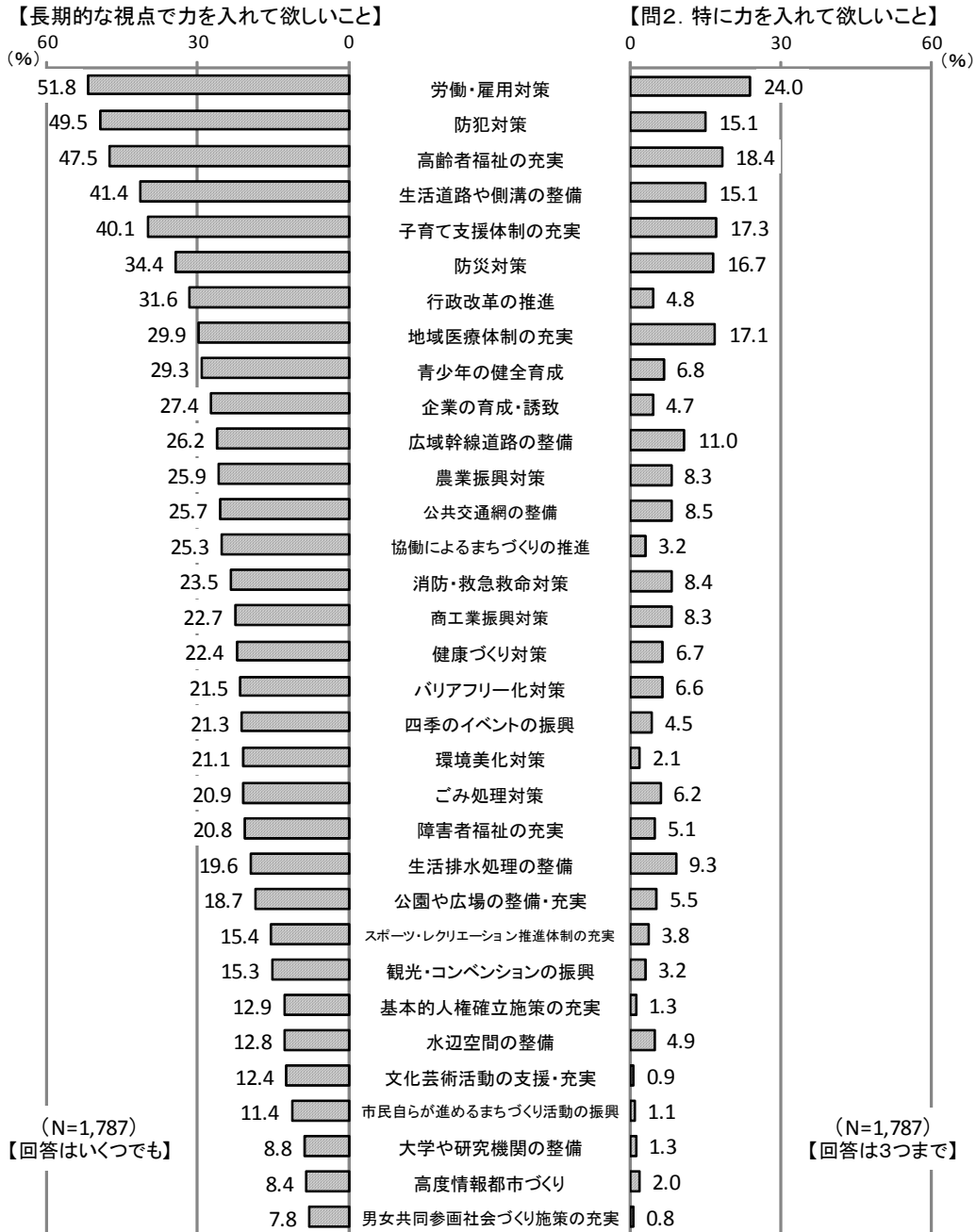
(%)

		1位	2位	3位	4位	5位
全体 N=1,787		防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 52.0	医療環境が充実したまち 27.5	安心して子育てができるまち 26.1	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 24.6	福祉が充実したまち 21.4
定住意向別	いま住んでいるところにこのまま住み続けたい N=1,246	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 51.8	医療環境が充実したまち 29.5	安心して子育てができるまち 23.8	福祉が充実したまち 23.4	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 23.1
	久留米市内の別のところに住みたい N=224	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 49.1	安心して子育てができるまち 33.5	魅力的な産業や仕事の場が多いまち／道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち 27.2	医療環境が充実したまち 22.3	
	久留米市外に住みたい N=72	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 52.8	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 25.0	安心して子育てができるまち／道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち 22.2	市外からもよく知られ、好感をもってみられるまち 16.7	
	わからない N=225	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち 55.6	安心して子育てができるまち 32.9	魅力的な産業や仕事の場が多いまち 30.7	医療環境が充実したまち 25.8	道路や鉄道などの交通が整備され、移動しやすいまち 17.8

(2) 長期的な視点で力を入れて欲しい施策

「労働・雇用対策」「防犯対策」「高齢者福祉の充実」が5割前後に上り高い。
「行政改革の推進」は長期的な視点で重要視されている。

問6 あなたは長期的な視点（今後10年程度）で見て、久留米市には特にどのようなことに力を入れて欲しいと思いますか。以下にあげる、問1で聞いた1～33の行政施策の中から、あてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】女性は「バリアフリー化対策」「高齢者福祉の充実」が男性より10ポイント前後高い。男性は女性に比べ「広域幹線道路の整備」「企業の育成・誘致」が高くなっている。

【年齢別】

・「子育て支援体制の充実」は年齢の低い層で高く、30歳代で第1位、20歳代で第2位となっているが、年齢が高い層では順位が下がる。反対に、60歳以上で第1位の「高齢者福祉の充実」は、20歳代で第6位、30歳代で第7位となっている。

■定住意向別にみた長期的な視点で力を入れて欲しい施策

◇久留米市外に住みたい人では「防犯」が1位にあげられている。「労働・雇用」より「高齢者福祉」や「生活道路」を重視する傾向にある。

(左列: % / 右列: 順位)

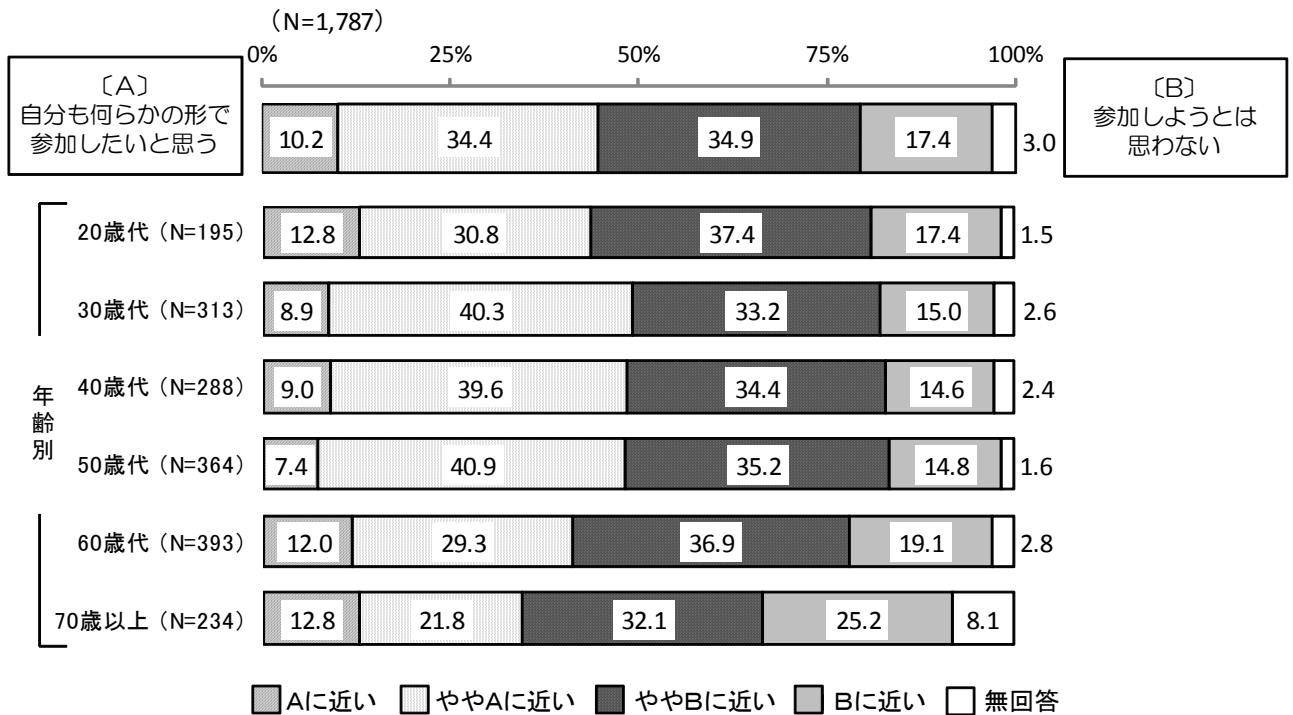
項目	全体		いま住んでいる ところにこのま ま住み続けたい		久留米市内の 別のところに 住みたい		久留米市外に 住みたい		わからない	
(27)労働・雇用	51.8	1	50.4	1	57.1	1	41.7	4	58.7	1
(7)防犯	49.5	2	48.2	3	48.2	2	54.2	1	56.4	2
(22)高齢者福祉	47.5	3	49.5	2	41.5	4	44.4	2	44.0	4
(2)生活道路	41.4	4	41.7	4	41.1	5	43.1	3	40.4	5
(17)子育て支援	40.1	5	38.0	5	47.3	3	37.5	5	46.7	3
(5)防災	34.4	6	33.4	6	36.2	6	29.2	8	39.1	6
(33)行政改革	31.6	7	32.4	7	31.3	7	26.4	10	28.9	9
(20)地域医療	29.9	8	29.7	9	28.6	9	25.0	12	32.9	7
(18)青少年の育成	29.3	9	29.9	8	28.6	9	25.0	12	27.6	10
(25)企業育成・誘致	27.4	10	25.8	12	28.1	11	34.7	6	32.4	8
(23)広域幹線道路	26.2	11	25.7	13	26.3	13	30.6	7	27.6	10
(26)農業振興	25.9	12	26.8	10	22.8	15	20.8	16	26.2	13
(30)公共交通網	25.7	13	24.6	14	29.9	8	27.8	9	26.7	12
(32)市民と行政の協働	25.3	14	26.5	11	21.9	16	20.8	16	24.0	16
(6)消防・救急	23.5	15	22.7	16	27.2	12	18.1	21	25.3	14
(24)商工業振興	22.7	16	22.3	17	21.0	19	26.4	10	25.3	14
(19)健康づくり	22.4	17	23.4	15	21.4	18	18.1	21	20.4	20
(11)バリアフリー	21.5	18	21.3	21	25.4	14	12.5	28	21.3	19
(1)四季のイベント	21.3	19	22.3	17	20.1	21	19.4	19	17.8	23
(8)環境美化	21.1	20	21.4	20	18.8	23	22.2	15	21.8	18
(9)ごみ処理	20.9	21	21.9	19	18.3	24	18.1	21	19.6	21
(21)障害者福祉	20.8	22	20.3	22	21.9	16	20.8	16	23.1	17
(4)生活排水	19.6	23	20.0	23	19.6	22	25.0	12	14.7	27
(10)公園広場	18.7	24	18.5	24	21.0	19	16.7	24	18.2	22
(16)スポーツ推進	15.4	25	15.1	26	15.2	25	19.4	19	16.4	24
(29)観光振興	15.3	26	16.0	25	10.7	28	16.7	24	15.1	25
(12)基本的人権	12.9	27	12.8	28	13.4	26	12.5	28	13.3	29
(3)水辺空間	12.8	28	12.1	29	12.1	27	16.7	24	15.1	25
(15)文化芸術	12.4	29	13.2	27	6.7	33	16.7	24	13.3	29
(14)まちづくり活動	11.4	30	11.5	30	10.3	29	5.6	33	14.2	28
(28)大学研究機関	8.8	31	9.4	31	7.1	32	8.3	32	7.6	33
(31)高度情報都市	8.4	32	7.6	32	9.4	30	9.7	31	11.6	31
(13)男女共同参画	7.8	33	6.6	33	9.4	30	11.1	30	11.1	32

3-4 まちづくりへの市民参加

(1) まちづくり計画策定への参加意向

**「参加しようと思う」が44.6%。
30歳代から50歳代の現役世代で参加意向が比較的高い。**

問7 久留米市では今後、長期的な視点に立った総合的なまちづくりの計画をつくるにあたり、市民の皆さんと連携して進めていきたいと考えています。このことについて、あなたは、次の〔A〕、〔B〕のどちらの意見に近いですか。(あてはまる番号に1つだけ〇印)



◆属性別特徴

【性別】女性は男性より「参加しようとは思わない」割合がやや高い。

【性別・年齢別】30歳代男性、40歳代女性では『参加したい』が5割を超えている。60歳以上の女性では『参加しようとは思わない』が6割を超える。

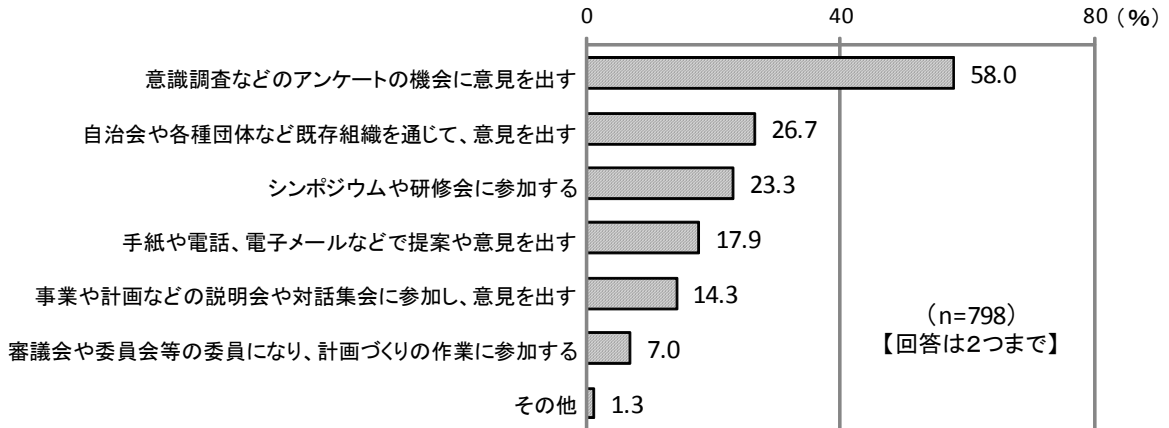
【ブロック別】北部B、中央東部では『参加したい』が4割に満たない。

		標本数 (票)	まちづくり計画を市民と連携して進めていくことについて (%)						
			思 「 う 」 に 近 い	形 「 う 」 に や 近 い	「 自 分 も 何 ら か の	思 「 う 」 に や 近 い	形 「 う 」 に や 近 い	近 い 「 よ う と は	思 「 わ な い 」 よ う と は
全 体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,787)	10.2 (183)	34.4 (615)	34.9 (624)	17.4 (311)	3.0 (54)	44.6 (798)	52.3 (935)
性 別	男性	821	11.9	35.0	31.9	17.8	3.4	46.9	49.7
	女性	966	8.8	34.0	37.5	17.1	2.7	42.8	54.6
性 別 × 年 齢 別	男性:20歳代	87	11.5	32.2	33.3	20.7	2.3	43.7	54.0
	男性:30歳代	132	11.4	40.9	26.5	18.2	3.0	52.3	44.7
	男性:40歳代	150	10.7	36.0	32.7	17.3	3.3	46.7	50.0
	男性:50歳代	161	9.9	37.3	36.0	14.9	1.9	47.2	50.9
	男性:60歳代	178	13.5	33.1	33.1	16.9	3.4	46.6	50.0
	男性:70歳以上	113	15.0	28.3	28.3	21.2	7.1	43.3	49.5
	女性:20歳代	108	13.9	29.6	40.7	14.8	0.9	43.5	55.5
	女性:30歳代	181	7.2	39.8	38.1	12.7	2.2	47.0	50.8
	女性:40歳代	138	7.2	43.5	36.2	11.6	1.4	50.7	47.8
	女性:50歳代	203	5.4	43.8	34.5	14.8	1.5	49.2	49.3
女性:60歳代	215	10.7	26.0	40.0	20.9	2.3	36.7	60.9	
女性:70歳以上	121	10.7	15.7	35.5	28.9	9.1	26.4	64.4	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	128	7.8	40.6	30.5	19.5	1.6	48.4	50.0
	東部B(田主丸)	120	5.8	35.0	39.2	16.7	3.3	40.8	55.9
	北部A	161	9.3	37.9	32.3	17.4	3.1	47.2	49.7
	北部B(北野)	118	10.2	25.4	39.8	22.9	1.7	35.6	62.7
	中央東部	227	7.9	31.7	41.0	17.2	2.2	39.6	58.2
	南東部	187	11.8	32.1	32.1	19.8	4.3	43.9	51.9
	中央部	220	10.5	38.2	37.7	10.0	3.6	48.7	47.7
	中央南部	297	11.1	37.0	29.6	18.9	3.4	48.1	48.5
	南西部	154	11.7	35.1	34.4	15.6	3.2	46.8	50.0
	西部A(城島)	74	16.2	28.4	35.1	16.2	4.1	44.6	51.3
西部B(三瀧)	101	12.9	28.7	35.6	20.8	2.0	41.6	56.4	

(2) まちづくり計画策定への参加方法

具体的な参加の方法は「アンケートへ意見を出す」人が約6割。

問7付問1 **問7で 1または2 に回答した人に** あなたは、まちづくりの計画をつくる際に、どのような形で参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】男性は「既存組織を通じて意見を出す」「説明会等に参加し意見を出す」が女性に比べ高く、女性では「アンケートの機会に意見を出す」が男性より高い。

【性別・年齢別】

- ・「シンポジウム等に参加する」は50歳代、60歳代の女性で3割代半ばと高いが、20歳代、30歳代、70歳以上の女性では1割台と低くなっている。
- ・「アンケートの機会に意見を出す」は男性では20歳代、女性では20歳代、30歳代で比較的高く、特に20歳代、30歳代の女性では8割前後に上る。
- ・「既存組織を通じて意見を出す」は70歳以上男性と60歳代女性で4割台と高くなっている。
- ・「電子メールなどで意見を出す」は40歳代男性と20歳代女性で比較的高く、3割前後に上る。
- ・「説明会等に参加し意見を出す」は男女とも年齢が高い層で比較的高くなっている。

【ブロック別】

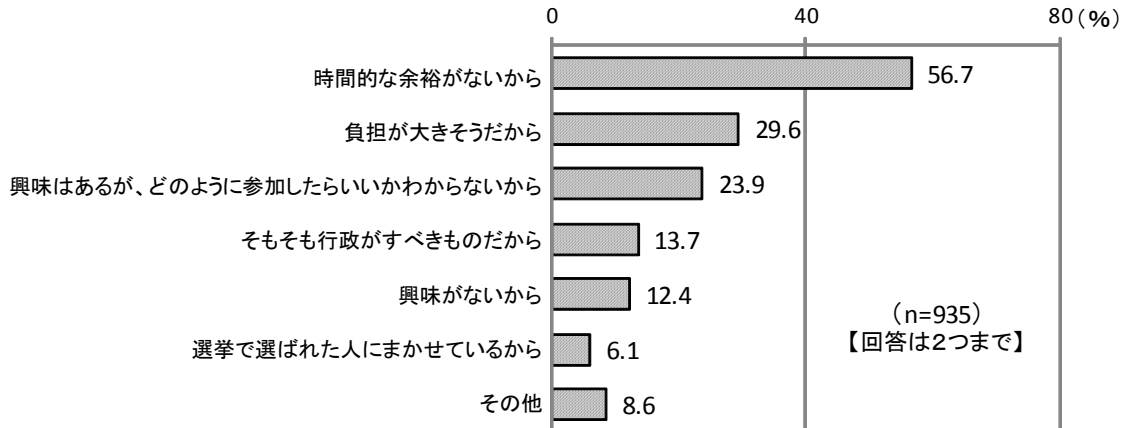
- ・「シンポジウム等に参加する」は北部Bでやや高い。
- ・「既存組織を通じて意見を出す」は南西部、東部Aでやや高く、中央南部、北部Bでは低い。
- ・「説明会等に参加して意見を出す」は西部Aで高くなっている。

	標本数(票)	どのような形で参加したいか (%)							
		にシ 参 加 す る ウ ム や 研 修 会	出 す イ チ ト 調 査 機 会 に の 意 見 を	見 出 す 既 存 組 織 を 通 じ て 意 見 を	自 治 会 や 各 種 団 体 な ど	出 す 手 紙 や 電 話 、 電 子 メ ー ル	し 、 会 社 や 対 話 集 会 に 参 加 す る	の 員 作 業 に り 、 参 加 す る の 委 員 会 や 計 画 な い の 委 員 会 等	そ の 他
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (798)	23.3 (186)	58.0 (463)	26.7 (213)	17.9 (143)	14.3 (114)	7.0 (56)	1.3 (10)	1.6 (13)
性別									
男性	385	22.1	50.6	30.4	17.9	19.7	9.1	0.8	1.3
女性	413	24.5	64.9	23.2	17.9	9.2	5.1	1.7	1.9
性別× 年齢別									
男性:20歳代	38	18.4	65.8	21.1	18.4	5.3	5.3	2.6	2.6
男性:30歳代	69	24.6	58.0	21.7	21.7	13.0	10.1	1.4	-
男性:40歳代	70	17.1	44.3	25.7	34.3	18.6	8.6	-	-
男性:50歳代	76	22.4	42.1	32.9	18.4	22.4	11.8	1.3	-
男性:60歳代	83	24.1	49.4	34.9	6.0	22.9	9.6	-	4.8
男性:70歳以上	49	24.5	53.1	44.9	8.2	32.7	6.1	-	-
女性:20歳代	47	10.6	83.0	6.4	27.7	8.5	4.3	-	-
女性:30歳代	85	15.3	78.8	9.4	24.7	7.1	3.5	3.5	-
女性:40歳代	70	24.3	67.1	27.1	18.6	10.0	2.9	-	1.4
女性:50歳代	100	34.0	59.0	26.0	17.0	4.0	5.0	1.0	4.0
女性:60歳代	79	35.4	45.6	41.8	6.3	11.4	8.9	1.3	2.5
女性:70歳以上	32	12.5	62.5	21.9	15.6	25.0	6.3	6.3	3.1
ブ ロ ック 別									
東部A	62	19.4	62.9	33.9	12.9	16.1	8.1	-	1.6
東部B(田主丸)	49	18.4	61.2	28.6	14.3	22.4	6.1	-	-
北部A	76	21.1	56.6	31.6	15.8	6.6	9.2	2.6	-
北部B(北野)	42	31.0	52.4	19.0	11.9	9.5	4.8	2.4	4.8
中央東部	90	25.6	55.6	26.7	20.0	15.6	5.6	-	1.1
南東部	82	26.8	57.3	26.8	14.6	11.0	3.7	1.2	1.2
中央部	107	22.4	59.8	25.2	23.4	12.1	8.4	0.9	0.9
中央南部	143	24.5	60.8	18.9	21.0	14.0	7.0	0.7	2.1
南西部	72	19.4	56.9	34.7	20.8	11.1	11.1	2.8	2.8
西部A(城島)	33	24.2	51.5	24.2	21.2	30.3	6.1	3.0	3.0
西部B(三瀧)	42	23.8	54.8	31.0	9.5	23.8	4.8	2.4	2.4

(3) まちづくり計画策定へ参加しようと思わない理由

まちづくり計画に参加しようと思わない理由は「時間的な余裕がないから」が第1位。
「興味はあるがどのように参加したらいいかわからない」人も約4分の1。

問7付問2 **問7で3または4に回答した人に** あなたが、まちづくりの計画をつくる際に、参加しようと思わない理由について、次の中からあてはまるものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。



■参加しようと思わない理由別にみた市政情報発信の評価

◇「興味がないから」と回答した人で市民への情報の提供が不十分と感じている人が相対的に多い。「時間的な余裕がない」「負担が大きそう」「どのように参加したらいいかわからない」人も「どちらかといえばそう思わない」が2割を超えている。

	標本数 (票)	問16. 市民への情報提供が十分に 行われているか (%)					
		そう 思 う	そ ど う ち 思 ら う か と い え ば	そ ど う ち 思 ら わ か な い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全 体 (カッコ内は標本数)	100.0 (935)	12.7 (119)	49.4 (462)	21.6 (202)	13.3 (124)	3.0 (28)	
思 参 わ 加 な し い よ 理 う 由 と	時間的な余裕がないから	530	11.3	53.8	23.2	10.8	0.9
	負担が大きそうだから	277	14.1	52.3	23.5	7.9	2.2
	興味はあるが、どのように参加したらいいかわからないから	223	12.6	50.2	24.7	10.3	2.2
	選挙で選ばれた人にまかせているから	57	21.1	57.9	15.8	3.5	1.8
	興味がないから	116	8.6	41.4	19.8	26.7	3.4
	そもそも行政がすべきものだから	128	13.3	50.8	16.4	16.4	3.1
	その他	80	15.0	40.0	17.5	22.5	5.0
無回答	11	18.2	18.2	9.1	36.4	18.2	

◆属性別特徴

【性別】男性は「興味がないから」「行政がすべきものだから」が女性より高く、女性は「負担が大きそうだから」「どのように参加したらいいかわからないから」が男性に比べて高い。

【性別・年齢別】

- ・「時間的な余裕がないから」は30歳代、40歳代の男性と40歳代以下の女性で7割を超えている。
- ・「負担が大きそうだから」は60歳代男性、50歳代、60歳代の女性でやや高い。
- ・「どのように参加したらいいかわからないから」は50歳代女性で高い。
- ・「興味がないから」は20歳代男性で高く、36.2%に上っている。

【ブロック別】

- ・「時間的な余裕がないから」は東部B、西部B、南西部で6割を超えている。
- ・「負担が大きそうだから」は北部Bと中央部でやや高い。
- ・「興味がないから」は東部Aで25.0%と高くなっている。

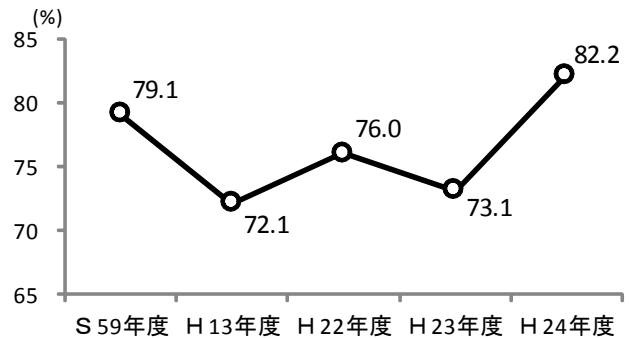
		標本数 (票)	参加しようと思わない理由 (%)							無回答
			か時 ら間 的な 余 裕 が な い	ら負 担 が 大 き そ う だ か	いよ興 かう味 わには か参あ ら加る ないが いたど からい	ま選 か挙 せで て選 ばれ るか ら人 に	興 味 が な い か ら	きそ もそ だも か行 政が すべ	そ の 他	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (935)	56.7 (530)	29.6 (277)	23.9 (223)	6.1 (57)	12.4 (116)	13.7 (128)	8.6 (80)	1.2 (11)
性別	男性	408	56.4	25.2	21.1	6.9	16.4	18.4	7.4	1.2
	女性	527	56.9	33.0	26.0	5.5	9.3	10.1	9.5	1.1
性別× 年齢別	男性:20歳代	47	61.7	14.9	17.0	4.3	36.2	12.8	8.5	2.1
	男性:30歳代	59	76.3	16.9	23.7	8.5	13.6	11.9	5.1	1.7
	男性:40歳代	75	73.3	22.7	14.7	2.7	17.3	9.3	4.0	1.3
	男性:50歳代	82	67.1	28.0	17.1	11.0	6.1	24.4	4.9	-
	男性:60歳代	89	38.2	34.8	27.0	5.6	19.1	21.3	11.2	1.1
	男性:70歳以上	56	21.4	26.8	26.8	8.9	12.5	28.6	10.7	1.8
	女性:20歳代	60	75.0	31.7	20.0	1.7	16.7	8.3	6.7	-
	女性:30歳代	92	71.7	32.6	22.8	1.1	12.0	10.9	9.8	-
	女性:40歳代	66	72.7	21.2	27.3	1.5	6.1	7.6	4.5	1.5
	女性:50歳代	100	63.0	37.0	33.0	5.0	8.0	8.0	5.0	2.0
	女性:60歳代	131	41.2	37.4	27.5	12.2	9.2	11.5	6.9	0.8
	女性:70歳以上	78	30.8	32.1	21.8	6.4	5.1	12.8	25.6	2.6
ブ ロ ッ ク 別	東部A	64	53.1	26.6	20.3	6.3	25.0	17.2	7.8	-
	東部B(田主丸)	67	64.2	34.3	11.9	4.5	7.5	16.4	6.0	1.5
	北部A	80	57.5	26.3	25.0	5.0	10.0	13.8	12.5	-
	北部B(北野)	74	43.2	37.8	18.9	8.1	16.2	16.2	8.1	-
	中央東部	132	58.3	28.8	25.8	5.3	13.6	13.6	9.8	0.8
	南東部	97	53.6	29.9	28.9	5.2	9.3	11.3	8.2	1.0
	中央部	105	59.0	37.1	26.7	2.9	7.6	12.4	5.7	1.0
	中央南部	144	55.6	24.3	25.0	7.6	11.1	16.7	12.5	1.4
	南西部	77	62.3	24.7	22.1	3.9	16.9	10.4	6.5	2.6
	西部A(城島)	38	52.6	28.9	21.1	13.2	13.2	13.2	5.3	2.6
西部B(三潁)	57	63.2	29.8	29.8	10.5	10.5	7.0	5.3	3.5	

考察 — 久留米市のまちづくり —

●久留米市への定住意向：今年度の「久留米市に住み続けたい」人は過去最多になり、8割を超えた

久留米市への定住意向に関する調査は、昭和59年、平成13年、平成22年、平成23年にも行われているので、それらの調査結果を比較してみたい。昭和59年の調査で「今後も久留米市に住み続けたい」は79.1%、平成13年の調査で「一生住み続けたい・できれば住み続けたい」との回答は72.1%、平成22年の調査で「久留米市に住み続けたい（「市内の別の場所に住みたい」を含む）（以後「久留米市に住み続けたい」と表記）は76.0%、平成23年の調査で「久留米市に住み続けたい」は73.1%であり、今回の調査では「久留米市に住み続けたい」が82.2%であった。同じ設問文ではないので厳密に比較できないが、「住み続けたい」の割合は増減を繰り返し、今回は9.1%増加し、初めて8割を超えて昭和59年より高い水準になっている。

■「久留米市に住み続けたい」と回答した人の割合（経年比較）■



属性別特徴をみてみよう。年齢が高い層ほど「久留米市に住み続けたい」と回答した人が多くなり、70歳以上では9割を超えている。少数派ではあるが、「わからない」あるいは「久留米市外に住みたい」の割合は、年齢が低い層ほど高くなっている。

居住年数をみると、居住年数が10年未満では「久留米市に住み続けたい」が62.9%であるのに対して、10年以上では85.1%となり、居住年数が長いほど定住意向が高くなる傾向がみられる。反対に、居住年数が短いほど定住意向が低くなるとも言える。

■久留米市への定住意向■

	標本数 (票)	久留米市への定住意向 (%)			
		住久 み留 続米 け市 たい に	住久 み留 た米 い市 外に	わ か ら な い	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	82.2 (1,470)	4.0 (72)	12.6 (225)	1.1 (20)
性別					
男性	821	82.7	3.8	12.5	1.0
女性	966	81.9	4.2	12.6	1.2
年齢別					
20歳代	195	62.6	7.7	28.7	1.0
30歳代	313	76.4	5.8	16.6	1.3
40歳代	288	79.9	4.2	16.0	-
50歳代	364	87.1	2.5	9.6	0.8
60歳代	393	87.1	3.8	7.6	1.5
70歳以上	234	94.0	1.3	2.6	2.1
居住年別					
10年未満	224	62.9	8.0	28.1	0.9
10年以上	1,553	85.1	3.5	10.3	1.1
無回答	10	70.0	-	20.0	10.0
居住形態					
持ち家	1,329	84.3	3.5	11.2	1.0
借家・賃貸住宅等	458	76.4	5.5	16.6	1.5

住居形態をみてみると、持ち家では「久留米市に住み続けたい」と回答した人が84.3%であるのに対して、借家・賃貸住宅等では76.4%と、定住意向は借家・賃貸住宅等より持ち家の方が高い。しかし、他の属性ほど大きな差は出ていない。借家・賃貸住宅等では「久留米市内の別のところに住みたい」が22.3%と高く、

「わからない」も16.6%いることから、住居形態が借家・賃貸住宅である場合に転出の可能性が考えられる。

これらのことから、平成16年以降転出超過になり、毎年1万人以上転出している久留米市に

において、定住人口を増やしていくためには、借家・賃貸住宅に居住している層、居住年数の短い層及び若年層等へ本市に住み続けたいと思わせるための、何かが必要であろう。

●定住意向には「交通の便」「買い物等日常生活」と「自然災害」が重要な要素となっている

その何かを探るために「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」理由と「別の場所に移りたい」理由を掘り下げてみる。「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」理由で1位になったのは「住みなれているので」(53.6%)であり、「居住年数が長いほど定住意向が高くなる」という上記の仮説と一致する。2位は「買い物等日常生活に便利なので」(37.6%)、3位が「交通の便がよいので」(33.6%)、4位は「地震や水害など自然災害が少なく安全なので」(32.8%)となっている。一方、「別の場所に移りたい」理由で1位になったのは「交通の便が悪いので」(35.5%)で、2位が「買い物等日常生活に不便なので」(29.4%)、3位が「地域に愛着がないので」(23.3%)、4位は「地震や水害など自然災害が不安なので」(17.2%)となっている。これら上位の理由の「買い物等日常生活に便利なので」と「買い物等日常生活に不便なので」、「交通の便がよいので」と「交通の便が悪いので」、「地震や水害など自然災害が少なく安全なので」と「地震や水害など自然災害が不安なので」は、すべて対になっており、住み続けたいと思えるかどうか「交通の便」、「買い物等の日常生活」、「地震や水害など自然災害」が重要な判断基準になっていると言える。

次に上位にあげられた理由の属性別特徴をみてみよう。「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」ならびに「別の場所に移りたい」と回答した人の理由は、「交通の便」、「買い物等の日常生活」、「地震や水害など自然災害」等の空間的要因に影響を受けやすい項目であるため、中央部で買い物や交通の便など生活の利便性が高い等、ブロック別で目立った傾向がみられると予想したが、性別や年齢別、住居形態別等の属性別でも特徴がみられた (P. 41, 43)。このことから、定住意向は空間要因だけでなく市民の性別・年齢・住居形態等の属性独自のニーズとの組み合わせによって影響が出ていることが理解できる。

ここで、住居形態別をとりあげてみよう。「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」人が「交通の便」、「買い物等の日常生活」を選択する割合は、「持ち家」より「借家・賃貸住宅」の方が高くなっている。また、「別の場所に移りたい」人が「交通の便」あるいは「買い物等の日常生活」を選択する割合が、「借家・賃貸住宅」より「持ち家」の方が高くなっている。つまり、「持ち家」がもともと住んでいるところなので選択できていない可能性が高いのに対して、「借家・賃貸住宅」の方が交通の便がよくて買い物等の日常生活に便利なところを選択して住んでいる可能性が高い。また、「借家・賃貸住宅」から「持ち家」に変わる時に交通の便が多少悪くても、買い物等の日常生活に多少不便でも、限られた予算の中で「持ち家」を選択しているのかもしれない。

■住居形態別にみた住み続けたい理由(上位5項目)■ (%)

順位	持ち家	借家・賃貸住宅等
1位	住みなれているので 55.9	交通の便がよいので 46.8
2位	買い物等日常生活に便利なので 35.3	買い物等日常生活に便利なので 46.8
3位	地震や水害など自然災害が少なく安全なので 33.9	住みなれているので 44.4
4位	交通の便がよいので 30.4	地震や水害など自然災害が少なく安全なので 28.6
5位	緑や自然が豊かなので 28.5	医療の心配が少ないので 24.6

●久留米市の10年間の評価：この10年間で久留米市は「良くなってきている」22.3%、「悪くなってきている」24.2%、「変わらない」32.5%

「久留米市は、全体としてこの10年間で、良くなってきていると思いますか。それとも悪くなってきていると思いますか。」の質問に対して、「良くなってきている」(22.3%)より「悪くなってきている」(24.2%)の方が若干多くなっている。また、「変わらない」が32.5%であった。

「良くなってきている」を選択した人の満足度の高い行政施策と「悪くなってきている」を選択した人の不満度の高い行政施策(P.45)と行政施策の満足度(問1B)の高い5項目および不満度の高い5項目とを比較することで、久留米市の10年間の評価をどのような要因で評価しているのかを探っていく。「良くなってきている」を選択した人の満足度の高い5項目の中で全体の満足度の高い5項目に入っていなかったのは、「生活排水処理の整備」と「環境美化対策」であり、この二つが上位5位に入った影響で上位5位から順位を下げた項目は「消防・救急救命対策」と「健康づくり対策」である。久留米市の10年間の評価で「良くなってきている」と評価した人の満足度は、「消防・救急救命対策」と「健康づくり対策」より「生活排水処理の整備」と「環境美化対策」の方が高いと言える。一方、「悪くなってきている」を選択した人の不満度の高い5項目の中で全体の不満度の高い5項目に入っていなかったのは、「生活道路や側溝の整備」と「防犯対策」であり、この二つが上位5位に入った影響で上位5位から順位を下げた項目は「企業の育成・誘致」と「行政改革の推進」である。久留米市の10年間の評価で「悪くなってきている」と評価した人の不満度は、「企業の育成・誘致」と「行政改革の推進」より「生活道路や側溝の整備」と「防犯対策」の方が高いと言える。

次に定住意向との関係をもてみる。「良くなってきている」の割合が定住意向の高い人ほど高い。反対に「悪くなってきている」は、久留米市外に住みたい人で34.7%と高くなっている。この結果から、久留米市が「悪くなってきている」および「変わらない」と思っている人に「良くなってきている」と思わせることが、久留米市からの転出を食い止めるポイントになっているようである。特に「良くなってきている」を選択した人の満足度の高い5項目を継続して伸ばしつつ、「悪くなってきている」を選択した人の不満度の高い5項目を改善することが必要である。しかし、「悪くなってきている」を選択した人の不満度の高い5項目の中には、「労働・雇用対策」と「商工業振興対策」のように久留米市だけでは成果を出しにくい項目や、「防犯対策」のように犯罪認知件数が減少して安全な状態になっていても主観的に安心できないことが理由で不満度が高い項目もあり、関係機関との連携等、施策を進める上での工夫が必要である。

■「良くなってきている」人の満足度の高い5項目■

順位	「良くなってきている」人の満足度	全体の満足度
1位	四季のイベントの振興	四季のイベントの振興
2位	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実
3位	ごみ処理対策	消防・救急救命対策
4位	生活排水処理の整備	健康づくり対策
5位	環境美化対策	ごみ処理対策

■「悪くなってきている」人の不満度の高い5項目■

順位	「悪くなってきている」人の不満度	全体の不満度
1位	労働・雇用対策	労働・雇用対策
2位	バリアフリー化対策	商工業振興対策
3位	生活道路や側溝の整備	企業の育成・誘致
4位	商工業振興対策	行政改革の推進
5位	防犯対策	バリアフリー化対策

●久留米市の将来像：「防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち」が、市民の考える将来像の中心となっている

長期的な視点で見て、久留米市にはどのようなまちとなって欲しいか(問5)という質問に対して、1位の「防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち」が52.0%と過半数を超えている。これは、防災と防犯を合わせた選択肢になっていることも影響していると考えられるが、その影響を考慮しても高い数値であり、久留米市の将来像の中心になっていると言える。2位「医療環境が充実したまち」(27.5%)、3位「安心して子育てができるまち」(26.1%)、4位「魅力的な産業や仕事の間が多いまち」(24.6%)、5位「福祉が充実したまち」(21.4%)までが2割以上となっている。これらの

■久留米市の将来のまちの姿(上位5項目)と重要度・満足度の領域■

順位	項目	【領域A】 重要度:高い 満足度:低い ◇今後改善の 優先度が高い	【領域C】 重要度:高い 満足度:高い ◇引き続き充実 が求められる
1位	防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち (52.0%)	(7)防犯 (5)防災	
2位	医療環境が充実したまち (27.5%)		(20)地域医療 (6)消防・救急 (19)健康づくり
3位	安心して子育てができるまち (26.1%)	(17)子育て支援 (18)青少年の育成	
4位	魅力的な産業や仕事の間が多いまち (24.6%)	(27)労働・雇用	
5位	福祉が充実したまち (21.4%)	(22)高齢者福祉 (11)バリアフリー	

5項目のうち4項目は、1章で言及した行政ニーズの高い領域Aの項目をほとんど含んでいる。具体的には、「防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち」が「(7)防犯」と「(5)防災」、「安心して子育てができるまち」が「(17)子育て支援」と「(18)青少年の育成」、「魅力的な産業や仕事の間が多いまち」が「(27)労働・雇用」、「福祉が充実したまち」が「(22)高齢者福祉」と「(11)バリアフリー」を含んでいる。唯一含まれていない項目は「医療環境が充実したまち」であり、引き続き充実が望まれる領域Cの「(20)地域医療」「(6)消防・救急」「(19)健康づくり」を含んでいる。

上位5項目のうち領域Aの4項目は満足していないが重要であり、さらに長期的な視点から見ても重要であると意識されており、その不満の改善されたまちを市民は望んでいると解釈できる。ただし、医療環境については、満足しているが命にかかわる重要な事項であるから短期的にも長期的にも重要であり、久留米市の特徴としてよりよい医療環境を望んでいると解釈できる。

性別でみると、女性は「安心して子育てができるまち」、「医療環境が充実したまち」が男性に比べて高い。一方男性は「魅力的な産業や仕事の間が多いまち」、「佐賀県東部を含む福岡県南地域の経済・文化などの拠点となるまち」が女性に比べて高い。これらのことから、女性は子育てと医療環境を重視し、男性は雇用と経済を重視していると解釈できる。

次に、定住意向別にみると、「久留米市に住み続けたい」人も「久留米市外に住みたい」人も、将来像としては「防災や防犯の行き届いた安全・安心なまち」が1位になっている。「いま住んでいるところに住み続けたい」人の2位は、全体と同じ「医療環境が充実したまち」であるが、「久留米市外に住みたい」人の2位は、「魅力的な産業や仕事の間が多いまち」になっている。また、転出の可能性のある「久留米市内の別のところに住みたい」と「わからない」を選択した人の2位は「安心して子育てができるまち」になっている。

今後、定住人口を増やしていくためには、「医療環境が充実したまち」とともに「魅力的な産

業や仕事の間が多いまち」や「安心して子育てができるまち」も重視していくべきであろう。

●長期的な視点でも「労働・雇用対策」「防犯対策」「高齢者福祉の充実」への要望が高い

長期的な視点で力を入れて欲しい施策をみてみよう。1位の「労働・雇用対策」と2位の「防犯対策」と3位の「高齢者福祉の充実」が5割前後の高い数値を示している。上位10項目の中で行政ニーズの高い領域Aに入っている項目は7項目で、「(27)労働・雇用」、「(7)防犯」、「(22)高齢者福祉」、「(2)生活道路」、「(17)子育て支援」、「(5)防災」、「(18)青少年の育成」である。一方、引き続き充実が望まれる領域Cに入っている項目は、「(20)地域医療」で、重要度・満足度ともに低い領域Bに入っている項目は、「(33)行政改革」と「(25)企業の育成・誘致」である。また、特に力を入れてほしい施策(問2)と比較すると、「(33)行政改革」は問2では21位だったが問6では7位と上昇し、「(25)企業の育成・誘致」は、問2では22位だったが問6では10位に上昇している。引き続き充実が望まれる領域Cの「(20)地域医療」については、1章の力点施策と久留米市の将来像でも言及された項目で、満足しているが重要で、さらに今後10年間力を入れて欲しい項目であると解釈できる。「(33)行政改革」と「(25)企業の育成・誘致」は、短期的には最優先する項目ではないが、不満度が高いので長期的には力を入れてほしい項目であると解釈できる。なお、「(33)行政改革」については、2章で詳しく考察しているので、参照されたい。

■長期的な視点でみた力点施策
(上位10項目)■

順位	項目	領域
1位	労働・雇用対策	A
2位	防犯対策	A
3位	高齢者福祉の充実	A
4位	生活道路や側溝の整備	A
5位	子育て支援体制の充実	A
6位	防災対策	A
7位	行政改革の推進	B
8位	地域医療体制の充実	C
9位	青少年の健全育成	A
10位	企業の育成・誘致	B

定住意向との関係性をみてみる。「久留米市にずっと住み続けたい」から「久留米市外に住みたい」人まで、上位5項目は「(27)労働・雇用」、「(7)防犯」、「(22)高齢者福祉」、「(2)生活道路」、「(17)子育て支援」であり、順位は入れ替わっているが同じ項目が上位になっている。

この5項目の順位の変化をみてみると、「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」、「久留米市内の別のところに住みたい」、「わからない」では、「(27)労働・雇用」が1位となっているが、「久留米市外に住みたい」だけが「(7)防犯」が1位になり、「(27)労働・雇用」は4位になっている。このことから「久留米市外に住みたい」人では、労働・雇用より防犯に今後10年間力を入れてほしいと思っていると解釈できる。

久留米市が今後10年間、労働・雇用及び防犯に力を入れることで、転出を抑制するとともに転入を増加させることができるのではないだろうか。

●まちづくりへの市民参加：まちづくり計画策定へより多くの市民が参加することで、市民ニーズに沿ったまちづくりができる

これまでの分析でまちづくりを行う上での大まかなイメージが浮かび上がった。あとは詳細イメージの作成とまちづくりの段階で軌道修正等が必要である。このプロセスに行政と専門家だけでなく市民が参加することで、より市民のニーズに沿ったまちづくりができると考える。

ここでは、市民のまちづくり参加意向について調べてみる。まちづくり計画策定への参加意向(問7)では、「参加したいと思う」が44.6%で過半数を切っている(P.52)。そこで、より多

くの市民に参加してもらうためにその参加意向について詳しくみてみよう。

まちづくり計画策定へ参加しようと思っている人が、どのような形で参加したいと思っているのか(問7付問1)を尋ねた結果では、1位の「アンケートの機会に意見を出す」を選んだ人が約6割おり、突出して高い。全体的には参加の手間があまりかからない参加方法が上位に、参加の手間がかかる参加方法が下位になる傾向がみられる。

属性別特徴をみてみよう。性別・年齢別では、「シンポジウム等に参加する」は50歳代、60歳代の女性で3割代半ばと高い、「既存組織を通じて意見を出す」は70歳以上男性と60歳代女性で4割台と高い、「電子メールなどで意見を出す」は40歳代男性と20歳代女性で比較的高く、3割前後に上る等の特徴がみられる(P.55)。従って、まちづくりへより多くの市民の参加を図るためには、最も参加希望の高かったアンケートとともに、シンポジウム、審議会など様々な参加方法を用意するなど、市民が意見を出しやすい方法の検討が求められる。

●まちづくり計画策定へ参加を増やすには、市民が市政に関心を高め、理解を深めるような情報発信が大切である

上の項では、より多くの市民がまちづくり計画策定へ参加するためにその参加手法について考察した。ここでは、まちづくり計画策定への参加意向(問7)と市政情報発信の評価(問16)の関係をみてみよう。まちづくり計画策定へ『参加したい』人も『参加しようとは思わない』人も、市民への情報提供が十分に行われているかについては『そう思う』が6割を超えている。しかし、参加しようと思うかどうかにかかわらず、『そう思わない』もともに3割を超えており、そこから参加を促す手がかりが見えてくるかもしれない。

まちづくり計画策定へ参加しようと思わない理由(問7付問2)では、1位の「時間的な余裕がないから」が56.7%で、突出して高い。2位の「負担が大きそうだから」は29.6%、3位の「興味はあるが、どのように参加したらいいかわからない」が23.9%でともに2割を超えている(P.56)。

ここで、まちづくり計画策定へ『参加しようとは思わない』人が参加したいと思えるようにするために、参加しようと思わない理由と市政情報

■まちづくり計画策定への参加意向別にみた市政情報発信の評価■

	標本数(票)	問16. 市民への情報提供が十分に行われているか(%)		
		『そう思う』	『ない』	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	63.8 (1,139)	33.3 (596)	2.9 (52)
まちづくり計画策定への参加意向『参加したい』	798	67.2	30.7	2.1
『参加しようとは思わない』	935	62.1	34.9	3.0
無回答	54	40.7	46.3	13.0

■参加しようとは思わないと答えた人の参加しようと思わない理由別にみた市政情報発信の評価■

	標本数(票)	問16. 市民への情報提供が十分に行われているか(%)			
		『そう思う』	『ない』	無回答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (935)	62.1 (581)	34.9 (326)	3.0 (28)	
参加しようと思わない理由	時間的な余裕がないから	530	65.1	34.0	0.9
	負担が大きそうだから	277	66.4	31.4	2.2
	興味はあるが、どのように参加したらいいかわからないから	223	62.8	35.0	2.2
	選挙で選ばれた人にまかせているから	57	79.0	19.3	1.8
	興味がないから	116	50.0	46.5	3.4
	そもそも行政がすべきものだから	128	64.1	32.8	3.1
	その他	80	55.0	40.0	5.0
	無回答	11	36.4	45.5	18.2

発信の評価(問 16)との関連を調べてみよう。「市政情報の提供が十分に行われているか」が「まちづくり計画に参加しようと思わない理由」にどのような影響を与えているのかをみる。

その結果、不十分と思っている層に着目してみると、「興味がないから」と回答した人で『そう思わない』と回答した人が46.5%と相対的に多かった。

また、まちづくり計画策定へ『参加したい』人が実際に参加するために、まちづくり計画策定へ『参加したい』人だけに質問した参加手法と市政情報発信の評価(問 16)の関係をみてみよう。

市民への情報提供が十分かについて、まちづくりに参加したい人の中では『そう思わない』人は30.7%となっているが、これより比率の高い参加方法は「シンポジウムや研修会に参加する」(31.2%)、「事業や計画などの説明会や対話集会に参加し、意見を出す」(35.1%)と「審議会や委員会等の委員になり、計画づくりの作業に参加する」(41.0%)である。これらは、シンポジウムや研修会、事業や計画などの説明会、審議会や委員会といった市民が集まる場で行政からの説明を受け、自らが理解を深めたくてまちづくり計画に参加したいと考える積極的参加派であり、この層からは市政情報の発信がより強く求められていることがわかる。

これらのことから、今後、まちづくり計画へ参加しようと思ひ、実際に参加する人を増やしていくためには、市民の市政への関心を高めるとともに、その理解がしだいに深まっていくことが必要であり、参加の糸口がわからない層への情報提供を工夫するなど、市政情報発信の手法についての検討も大切になるだろう。あわせて、参加の手間があまりかからない参加方法が好まれる傾向を考慮すると、まちづくり計画へ意見を出す行事を開催する際の時間や曜日の多様化や参加負担軽減の工夫などを行うことにより、市民参加を促す環境づくりが進むだろう。

■参加したいと答えた人の参加方法別にみた市政情報発信の評価■

	標本数(票)	問16. 市民への情報提供が十分に行われているか(%)			
		『そう思う』	『ないそう思わない』	無回答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (798)	67.2 (536)	30.7 (245)	2.1 (17)	
参加の仕方による 参加の形態 か	シンポジウムや研修会に参加する	186	65.6	31.2	3.2
	意識調査などのアンケートの機会に意見を出す	463	70.0	28.7	1.3
	自治会や各種団体など既存組織を通じて、意見を出す	213	70.5	28.1	1.4
	手紙や電話、電子メールなどで提案や意見を出す	143	67.8	29.4	2.8
	事業や計画などの説明会や対話集会に参加し、意見を出す	114	63.2	35.1	1.8
	審議会や委員会等の委員になり、計画づくりの作業に参加する	56	55.4	41.0	3.6
	その他	10	70.0	30.0	-
無回答	13	61.6	15.4	23.1	

●市民がまちづくり計画に参加するからこそ「良くなる」と思えるように情報を提供していくことが効果的

次に、この10年間で久留米市が良くなったと思うか(問4)とまちづくり計画策定への参加意向(問7)の関係をみてみよう。この10年間で久留米市が「良くなってきている」と思う人は、まちづくり計画に参加したいと思う人が参加しようとは思わない人より多く、この10年間で久留米市が「変わらない」、「悪くなってきている」と思う人は、まちづくり計画に参加しようと思わない人が参加したいと思う人より多くなっている。

ここで、この10年間で久留米市が良くなったと思うか(問4)と市政情報発信の評価(問16)の関係をみてみよう。久留米市が良くなってきていると思っているかどうかとは無関係に、いずれの項目でも「市民への情報提供が十分」と思っている人がそう思わない人よりも多いという結果がでている。ここであえて不十分だと思っている層に着目すると、この10年間で久留米市は良くなってきていると思っている人の中で市政情報提供が十分かについて「そう思わない」人が20.1%であるのに対して、「変わらない」と思っている人では34.4%、「悪くなってきている」と思っている人では42.8%となっている。まちが良くなってきていると思っている人よりそう思わない人の方に市政情報の提供が不十分だと思える人が多くなる傾向がみられる。

これらのことから、「まちづくり計画策定に参加したいと思う人」は「まちが良くなったと思っている人」であり、「まちが良くなったと思っている人」は「市民への情報提供を十分と評価する人」だと言えるだろう。まちが良くなったと思う人が増え、まちづくりに積極的に参加すれば、まちはさらに良くなっていくと考えられる。このような好循環をつくりだすことが、地方自治体が政策形成を担うことが多くなった現代では大切になっており、その好循環を促進する潤滑油として行政施策の情報発信を適切に行っていくことを求められていることが、これまでの分析よりわかってきた。

まちづくり計画への市民の参加は、市民が自分の暮らすまちのあり方を主体的に考えていくことで、久留米市が「良くなる」と実感できる良い機会である。久留米市のまちづくり計画の策定が市民と行政の協働で進められることにより市民ニーズを反映した計画ができ、地域の課題解決や目標達成につながっていくものと思われる。

■久留米市の10年間の評価別にみたまちづくり計画策定への参加意向■

		標本数(票)	問7. まちづくり計画を市民と連携して進めていくことについて(%)		
			『参加したい』	は『参加しない』と	無回答
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,787)	44.6 (798)	52.3 (935)	3.0 (54)
久留米市の 10年間の 評価	良くなってきている	398	51.0	46.0	3.0
	変わらない	581	43.9	52.9	3.3
	悪くなってきている	432	44.0	52.0	3.9
	わからない	300	39.0	59.3	1.7
	無回答	76	43.4	55.2	1.3

■久留米市の10年間の評価別にみた市政情報発信の評価■

		標本数(票)	問16. 市民への情報提供が十分に行われているか(%)		
			『そう思う』	な『そう思わない』	無回答
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,787)	63.8 (1,139)	33.3 (596)	2.9 (52)
久留米市の 10年間の 評価	良くなってきている	398	77.7	20.1	2.3
	変わらない	581	62.3	34.4	3.3
	悪くなってきている	432	53.1	42.8	4.2
	わからない	300	61.4	37.3	1.3
	無回答	76	72.4	25.0	2.6



久留米暮らし・ウェルカムキャンペーン

く る め で 暮 ら そ う

久留米市では、久留米を定住地として選んでいただいた方を歓迎する
久留米暮らし・ウェルカムキャンペーンを実施しています。

対象者

久留米市内に自分が居住するための住宅を購入(中古住宅を含む)
又は新築(建替を含む)し、市外から転入した方

対象期間

平成24年4月 1日から
平成27年3月31日まで

1 ウェルカムプレゼント

対象世帯に、久留米の特産物など

10万円の記念品をプレゼント!

【条 件】

- ・転入前1年間、本市に住所をおいていないこと
- ・3年以上定住する意思があること
- ・自治会に加入し、地域コミュニティ活動に参加・協力すること
- ・本市への市税や料金等を滞納しないこと
- ・暴力団員及び暴力団との親密な関係がないこと

- ① 地場産品コース 久留米餅、藍胎漆器、地酒、ワイン、ジャムなど
- ② 農 産 物コース 旬の野菜や果物、お米[特別栽培米]など
- ③ 植木鉢花コース 久留米つばき等の植木又は胡蝶蘭等の鉢花
- ④ 商 品 券コース 市内の4商工団体が販売するプレミアム付商品券

★上記①～④から2コース(重複可)をお選びください。(1コース5万円)

2 通勤定期利用支援

新幹線やJR在来線・西鉄電車で通勤される方
(対象世帯の中より1名)の定期券代を支援します!



① 最大36万円 (1万円×36ヶ月)

〈新幹線〉…新幹線久留米駅から乗車で、降車駅は全駅対象

② 最大18万円 (5千円×36ヶ月)

〈JR在来線・西鉄電車〉…市内の駅から乗車で、降車駅は下記の駅対象

- JR在来線(南福岡駅以北、吉野駅以南、夜明駅以东、筑前内野駅以东、伊賀屋駅以西)
- 西鉄電車(雑餉隈駅以北、渡瀬駅以南)

【お問い合わせ】 久留米市 定住情報窓口 TEL(0120)888-743 FAX(0942)30-9703